

仮想アース Crystal E-G の導入(5)(HP 収載)

—Crystal E との置き換え(4)—

1. 始めに

前報(1)の計画にしたがい、既存の Crystal E との置き換えを実施します。

2. Crystal E-G の試聴計画

今回は、LINN LP-12 からバランス入力する ZANDEN Model 120 に使用している Crystal E と Crystal E-G との置き換えを実施します。Crystal E-G との接続は、アースアキュライザーです。LINN LP-12 のフォノケーブルはバランス化しましたのでアースケーブルはありません。



上段 : Crystal E-G

下段 : Crystal E

音源はアナログ音源の下記を LINN LP-12 で再生します。

ドイツグラモフォン 483 6926

バッハ 無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータ

ミルシュテイン (ヴァイオリン)

LONDON KIJC 9180/84

ワーグナー ワルキューレ

ショルティ指揮ウィーンフィル

ドイツグラモフォン MG 9537-51

ベートーヴェン 選帝侯のソナタ
ゲザ・アンダ (ピアノ)

EMI SLC1331

ヘンデル メサイア
クレンペラー指揮フィルハーモニア

2. Crystal E-G の試聴結果

ZANDEN Model 120 に使用している Crystal E で試聴しておき、Crystal E-G に繋ぎ替えて聴き直します。

バッハの無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータは、Crystal E では、深みのある豊かな響きです。Crystal E-G に替えますと一段と深みが増し、ミルシュタインのボウイングの様が分かりやすくなります。

ワーグナーのワルキューレは、Crystal E では歯切れよく迫力もありますが、Crystal E-G に替えますと、さらに解像度が増し、ソプラノやメゾソプラノの歌唱の残響が整理され、定位が明確になります。

ベートーヴェンの選帝侯のソナタは、Crystal E では芳醇なゲザ・アンダのピアノリズムが心地よいのですが、Crystal E-G に替えますと、打鍵の音像が立って、抑揚、強弱のフレージングがよりしっかりしてきます。

ヘンデルのメサイアは、Crystal E では、合唱の迫力もあり、ソリストの歌唱も伸びやかですが、Crystal E-G に替えますと合唱の分離が向上し、通奏低音も明瞭になり、ソリストの歌唱も一段と張りがでてきます。

4. まとめ

LINN LP-12 の再生において ZANDEN Model 120 に使用している Crystal E と Crystal E-G との置き換えの効果を認めました。

以上